



議会だより



初日の出



2P 議長新春あいさつ



5P 常任委員会レポート



6P 視察報告



7～17P 一般質問



18P 今期の議員活動を振り返る言葉

議長新春あいさつ

豊かさ感じる年に



阿久比町議会議長

沢田 栄 治

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、「第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」の町村の部で阿久比町が連覇を成し遂げました。日々コツコツと練習を重ね、連覇を望む町民の大きな

期待に、見事に応えた選手の方々の力走に感服いたしました。我々議員も選手の方々を見習い、町民の皆様のために一つ一つ活動をしてまいりたいと思います。

阿久比町においては、ふれあいの森に屋内バーベキュー場が完成し、「子育てスタート!ラポール」「あぐいファミリィ・サポート・センター」の開設など、子育てに関する施策を開始しました。また町制施行65周年を迎えた記念すべき年でも

ありました。

全国的には、自然災害の多い年でした。一月の北陸での大雪、六月には大阪北部地震、七月には西日本豪雨、九月には北海道胆振東部での地震など、被災された皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、一日でも早く元の生活に戻れるようお祈りいたします。

今年は平成に終わりをづけ、新たな元号の元年となります。議会も改選の年を迎えました。五月中旬には新しい元号とともに新議員の活動も始まることとなります。

新年度には、東部知多衛生組合の新クリーンセンターが完成し、改めてゴミの減量化が求められます。また、新給食センターの建設が始まる予定です。

子育て施策、高齢者の皆様を守る施策、防災対策など、喫緊の課題は山積しております。

町民の皆様が、豊かさを実感できるように議会議員一同、町政を注視し、行政、議会の両輪として正しい町運営を目指してまいります。

災害のない安穏な年になる事を願いまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成30年 第4回定例会

主な議決内容

会期／12月6日～20日

議案／条例等8件、補正予算6件、同意1件、諮問1件、請願2件

可決

阿久比町指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

提案理由 介護保険法の一部が改正されたことに伴い、本条例を定める必要があるため。

子どもが生まれてからも働き続けたいが「両親とも社会保険」の条件により申し込みができない。また保育所は定員に満たない状況がある。国の指針に社会保険の条件はない。条件をなくし、保育を必要とする子どもたちすべての受け入れを望む。

趣旨

請願代表者 新美 正代
紹介議員 竹内 強

採択

請願

保育所入所申込みの「両親とも社会保険加入者」という条件をなくしてください。

子どもが病気になるたびに、近くに親や、頼める知り合いがいなかったために仕事が終わらずに困っているという声がある。「病児保育」制度は切実に求められている。

趣旨

請願代表者 新美 正代
紹介議員 竹内 強

採択

請願

「病児保育」を町内の医院で実施してください。

同意

監査委員の選任（再任）

たけ うち よし き
竹 内 祥 樹 氏（阿久比）



適任

人権擁護委員の推薦（再任）

あり すえ かず ひこ
有 末 和 彦 氏（宮津山田）

法務大臣へ推薦することにしました。



平成30年 第4回定例会

○賛成 ×反対 ―議長

	番 号	件 名	結果	小 柳 み ゆ き	都 築 清 子	都 築 重 信	山 本 和 俊	瀧 塚 政 明	竹 内 強	渡 辺 功	三 留 享	大 村 文 俊	久 保 秋 男	勝 山 制	山 本 恭 久	沢 田 栄 治
議 案	42	阿久比町指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	43	阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	44	阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
	45	阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	46	阿久比町子ども医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	47	阿久比町母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	48	阿久比町障害者医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	55	工事請負変更契約の締結について (町道矢高横川線道路改良工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予 算	49	平成30年度阿久比町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	50	平成30年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	51	平成30年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	52	平成30年度阿久比町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	53	平成30年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	54	平成30年度阿久比町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意	4	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問	1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請 願	1	保育所入所申込みの「両親とも社会保険加入者」という条件をなくしてください。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	2	「病児保育」を町内の医院で実施してください。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳 情	9	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書														
	10	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を国に求める陳情書														
	11	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を国に求める陳情書														
	12	商工会の経営支援体制確立への配慮と地域商工業振興策の拡充														
	13	保育土の人材定着・確保のため職員配置基準と公定価格の抜本的な改善にむけて国に対し意見書提出を求める陳情														

※澤田道孝氏は、阿久比町長選挙へ立候補したため11月20日付で失職となりました。

常任委員会レポート

総務建設

阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正

Q 本町のラスパイレス指数。

A 平成29年4月1日現在の阿久比町のラスパイレス指数は98・1。

Q 県内54市町村の平均。

A 99・1。



町道矢高横川線(宮津地区)



Q 知多郡内では。

A 武豊町 99・9

東浦町 99・4

美浜町 98・8

阿久比町 98・1

南知多町 96・0

人事院勧告に基づいて100になるのが理想。

平成30年度阿久比町一般会計補正予算

Q 道路新設改良費の増額補正300万円。

A 町道矢高横川線の追加工事。

Q 追加工事の理由。

A 警察との協議により、現在の横断歩道、止まれ、30キロ規制看板の移設及び新設、ガードレール設置等の安全対策。

Q 追加工事によって、工期は予定通りか。

A 工期変更もありうる。

(久保 秋男 議員)

文教厚生

阿久比町指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

Q これまで県が指定権限者であったが、費用、請求受領にかかる記録は本町はどうしていたのか。

A 県の基準で5年間の記録保存を義務付け。

Q 暴力団等排除規定が付け加えられているが県の条例に入っているのか。

A 入っていた。町では強い義務規定とする。

平成30年度阿久比町一般会計補正予算

Q 障害児通所給付費増で増加した利用日数。

12月13日に総務建設委員会、14日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

Q 当初見込み、年間6368日。6カ月間の実績と今後の状況から推測し、654日増の7022日。

Q 放課後児童健全育成事業費の増額。

A ・げんきッズ東部第2の新規利用が6月から10カ月分増。
・げんきッズ南部は4月からの利用が5月からとなったため1カ月分減。
・げんきッズ英比第3の新規利用が8月から8カ月分増。

Q 学校給食運営費の燃料費単価決定と仕組み。

A 毎年の予算編成方針で翌年の単価を決定。当初予算1ℓ60円から87円に高騰。

平成30年度阿久比町介護保険特別会計補正予算

Q 事業を開始したデイクアの場所。

A 本年、1月1日から「竹内整形外科・内科クリニック」が介護予防通所リハビリテーションを開始。

Q 保育所入所申し込みの「両親とも社会保険加入者」条件をなくしてください。

意見 正規職員の復帰時の受け入れができない現状や、保育料無償化が実施された場合の影響も考慮する必要がある。

請願2 「病児保育」を町内の医院で実施してください。

意見 国の補助対象は一定の利用児童数が必要。

児童減少時の措置を考慮し、長期的な検討が必要。

(都築 清子 議員)

議会だより編集特別委員会

10月22日 東京都千代田区 読売新聞社 東京本社

10月23日 神奈川県 葉山町議会広報常任委員会

読売新聞社 東京本社

【社内見学】

東京本社内では、各階が吹き抜け構造となっており、緊急事態発生時には、吹き抜け部分から他部署の動きが確認できる。

* 定期時に紙面づくりの打ち合わせは、オープンスペースで行われる。

* 各部署の仕切りがなく、見渡せる配置になっている。

* いたるところにテレビの画面、時計があり、世界の状況と時刻が常にわかるようになっている。

* 大規模地震発生当時の取材の困難さや、写真がパネルで展示されている。



【模擬取材体験】

新聞記者として仮想の街で取材をし、新聞紙面に記事を掲載するまでのプロセスを模擬体験するもの。



① 仮想の街を、取材用のタブレットから覗くと様々な人物が現れる。

② ポイントになる人物に的確な質問をする。と有力情報が得られる。

③ 取材から紙面記事にするまでの締め切り時間が短いため、取材した内容を瞬時に捉える必要がある。

④ インパクトのある見出しや、キャプションに反映され、魅力ある記事になる。

神奈川県 葉山町議会

雑誌『議会人』の中で市町村議会広報クリニックスのページに掲載され、広報紙を構成する多様な内容は議事公開の広報等平均レベルを超えていると評価されている。

* 10月現在

人口3万3233人。

* 議員定数14人。

* 議会広報委員会常任委員会である。

* 委員会定数は議員の半分の7人。

* 各委員長、副議長も委員となっている。

* 一般質問の仕方は、

一問一答方式と一括質問一括答弁方式どちらかを選んで行う。

* 定例会終了後から発行日までは、約30日。

* 音声の文字起こしは業者発注で、納期1週間。

費用 1時間1万4040円×人数。

* 質問した議員がそれを基にして自作した原稿を、議会広報常

任委員会で編集する。

* 行政の広報紙とは別物であると捉え、行政とは違う観点や独自性を考えている。

* 専門用語は注意し、中学生でもわかる表現にしている。

* 任期は2年だが全員で広報紙を作る気持ちで取り組んでいる。

* 町広報紙とは別日に業者のポスティングにより全戸配布と、町内17カ所の公共施設に設置。

* 直近の行事を掲載するようにしているが、町の広報紙と重ならないようにしている。

横浜近郊で、皇族の御用邸を有するといった環境の違いはあるが、人口や議員定数は似ている町であり、住民目線を大事にすることに違いはない。

(都築 清子 議員)



互いに熱く語り
意見交換をした
有意義な視察となった



ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う

今議会では、12月7日(金)・10日(月)に10名の議員が一般質問を行いました。
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずねるものです。
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。
次のページから、質疑の概要を1人1ページで掲載しています。

発言時間 60分

頁	議員名	質問項目
8	瀧塚 政明	1. 次世代につなぐ確かなまちづくり
9	竹内 強	1. 保育園の入所規定 2. 産業まつりへの自衛隊の参加 3. 町長選挙における竹内町長の公約
10	都築 清子	1. ごみ削減施策と課題 2. がん教育と、がん患者支援
11	久保 秋男	1. 公約に掲げた事業を今後どう進めるのか 2. NAMトライアングル構想
12	山本 恭久	1. 資源ごみパフォーマンスの向上 2. 町道の安全管理

頁	議員名	質問項目
13	都築 重信	1. 避難所のあり方 2. 停電時の対応 3. 都市計画
14	大村 文俊	1. 「2025年問題」超高齢社会への対応
15	勝山 制	1. 新給食センター建設計画の進捗 2. 東部小学校の児童増加問題の対応
16	三留 享	1. 板山高根湿地の今後とボランティアへの対応
17	小柳みゆき	1. 学校選択制アンケート 2. 英比小学校の空き教室の状況

今回の傍聴人数 延べ45人

次世代につなぐ確かなまちづくり

スピード感をもって施策に取り組む



瀧塚 政明 議員
(済々会)

問 新学校給食センターの建設。

答 最大調理能力1日4500食、アレルギー対応施設や食育のための見学通路を備えた学校給食センターを、平成32年9月の運用開始を目指し事業を進めている。

問 東部小学校の児童増加への対応。

答 平成32年度から教室が不足するので、平成31年度中に校舎の増築工事を行う。

併せて、英比小学校区に隣接する、陽なたの丘と宮津団地の小学校4年生以下の保護者に対し、学校選択制アンケート調査を行い、児童受け入れの検討をしている。

問 放課後児童クラブの増設。

答 げんきッズ南部の1クラスを2クラスに増設する。

問 「子育てスタート!ラポール」の個別支援。

答 平成30年8月の開所以来、全妊婦の面談、個別支援に対応している。今後は、母子手帳アプリなどを導入していく。

問 ファミリーサポート事業。

答 平成30年10月1日から子育て支援センター内に開所した。

登録会員は、依頼会員26名。援助会員14名。両方会員9名の計49名。

問 児童発達支援事業所の開設。

答 平成31年10月1日から英比保育園内の「ほしくみ」を児童発達支援事業所として開所する。

問 地域包括ケアシステムで高齢者を守る。

答 2025年問題対応として、地域の中で、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に推進していく。

問 生活支援体制の充実。

答 生活支援コーディネーターにより、地域の困りごとを調査し、共助の仕組みづくりを進めていく。

問 認知症施策の充実。

答 認知症初期集中支援チームによる早期対応と認知症の理解を町民に啓発していく。

問 在宅医療・介護連携の充実。

答 普及のための講演会の開催や他職種連携を推進していく。

問 無料循環バス「アグビー号」の充実。

答 今後も、町民、利用者の皆様の声をお聴きしながらルートの見直し等を行い、町民に愛されるアグビー号にしていく。

問 防災倉庫の増設。

答 現在丸山防災倉庫1カ所に災害時の非常食、飲料水等を備蓄している。大規模災害に備え、新たに各小学校区に備蓄品を分散して備蓄できる場所を調査検討する。

問 洪水対策として阿久比排水機場の建設。

答 既設排水機場は、建設から40年経過し、老朽化のため、新排水機場の建設が進んでいる。

植大排水機場は平成35年度に、英比排水機場は平成36年度に完成予定である。

問 英比川・前田川除塵機の更新。

答 英比川除塵機は、今年度中に完成予定である。前田川除塵機は、平成31年度に更新する予定である。

問 コンビニ納税。

答 導入にはかなりの予算を要するが、住民サービスの向上を図るため、平成32年4月の実施に向け進める。

問 宮津土地改良事業の推進。

答 現在、地権者説明会等を開催し、県営事業での採択を目指し準備を進めている。

町も地域振興の重要な事業と考え、関係機関と調整を図っている。

問 土地区画整理事業市街化整備の推進。

答 土地区画整理事業は、地権者の合意形成が不可欠で、地権者や県と意見調整し、地区整備の方針を定めていく。

問 都市計画道路（名古屋半田線・矢高横川線・環状線）の早期着手。

答 名古屋半田線は、県に対し、阿久比町側から

の早期事業着手を強く要望している。

矢高横川線の東側は、宮津地区土地改良事業に併せて、県への事業要望と調整協議を進めている。西側は、必要性など考慮し、検討していく。

環状線は、県で検討している。早期事業着手に向け、関係機関に継続して要望していく。

問 上り阿久比パーキングエリア構想の実現。

答 上り阿久比パーキングは、県道路公社にて事業計画を作成している。任意事業「愛知多の大地」も、事業者により、実施に向け、事業計画の検討が進められている。本町も、関係機関と事業推進に向け、調整を図っていく。

問 体育館基本構想着手。

答 スポーツの拠点となる総合体育館や地区の防災拠点となる避難所を備えた地区体育館など、体育館のあり方について町民と話し合える町民会議を開催し、体育館建設基本構想に取り組む。



竹内 強 議員
(日本共産党)

保育園の入所規定

見直し必要

保育園の入園状況

	入園児童数(0～2歳児)		
	H28.4	H29.4	H30.4
町立保育園	114	86	91
私立保育園	88	105	102

- 知多半島、5市5町の中で0～2歳までの子どもが入園にあたり「両親とも社会保険に加入している」が条件になっているのは阿久比町のみである。
- 問** この規定を外す考えは。
- 答** 平成31年10月からの保育料の無償化に伴い見直しが必要。今後の状況をよく見据えたうえで慎重に判断する。
- 問** 町内の公立、私立保育園の0～2歳を対象とする保育園の入園状況表のとおり。

産業まつりへの自衛隊の参加

情報提供の機会

憲法9条をめぐる国論を二分する政治的な情勢下で、あえて自衛隊を参加させた理由。

- 問** 産業まつりの主催者。主催者は、商工会やJA、町内の農業者や消費者等各種団体の代表で構成する阿久比町産業まつり実行委員会。
- 問** どこからの要請で、どの機関で参加の許可を出したのか。
- 答** 昨年の出展者の意向と出展計画書の提出を受け、実行委員会で審議・承認している。
- 問** 町民の反応についてどのように判断したか。
- 答** 自然災害における活動状況を隊員から直接聞くことで、住民に災害時の準備や行動等を考えてもらう良い情報提供の機会と捉えている。

町長の公約

実現に向けて取り組む

- 問** 環状線の早期着手への対応の内容。
- 答** 今後関係機関と調整を図り早期事業着手に向け、県への要望を継続していく。
- 問** 東部小学校の児童数増加に対応する具体案。
- 答** 平成31年度中にレンタル校舎の増設工事を行う。あわせて学校選択制アンケート調査を行い、英比小学校での児童受け入れの検討をしている。
- 問** 保育料無償化にともなう施策を進めるとのことだが、消費税10%への値上げにともなう対策のことであれば国や県から具体的な指示がきているのか。町独自の施策ならどのような内容か。
- 答** 具体的な指示はない。説明会では「今後変更もあり得る。」とのこと。町独自の施策は無償化の詳細や指示などがわかりしだい講じる。
- 問** 放課後児童クラブを増やすと言うが、阿久比町は全て民間に頼っているのが現状。具体的な計画。
- 答** げんきッズ南部の1クラスを2クラスに増設する。
- 問** 地域包括ケアシステムで高齢者を守りきることはできるか。
- 答** 厚生労働省は、要支援1、2だけでなく要介護1、2の方まで制限を広げようとしている。
- 答** 介護認定に応じた適切な給付に努め、介護予防事業に力を入れるとともに阿久比町版地域包括ケアシステムを充実させ住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取り組む。

ごみ削減施策と課題

幅広い年代へ啓発



都築 清子 議員
(公明党)

来年度までに家庭系ごみ20%削減目標は住民の理解と協力が欠かせない。本町の本気度はいかに。

問 説明会後の住民の声や、ごみ出し状況。

答 「ごみや資源を出すときの参考になった」、「燃えるごみだと思って」いるものの中にも、まだ資源になるものがある」などの声に手ごたえを感じている。

昨年度と比較して、プラスチック製容器包装の収集量は増加しているが、燃えるごみは減少していない。

問 回収業者や行政協力員と定期的に話し合いはされているか。

答 収集業者と意見交換しており、行政協力員とは個別事例など意見交換の機会がある。

問 草や剪定枝の堆肥化の調査研究進捗状況。

答 刈草・剪定枝の出し方や収集方法・処理方法など近隣市町の状況や収集業者等の意見を参考に、調査研究を進めている。

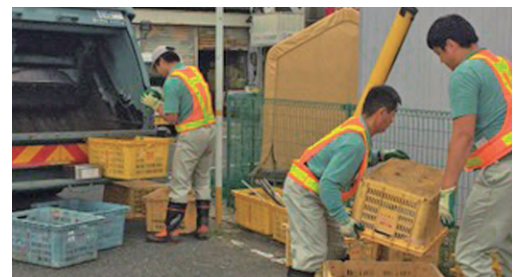
問 子ども達へ啓発するなど、啓発の創意工夫が必要ではないか。

答 ごみ減量に対する取り組みは、ごみを出す方々に広く理解をしていただく必要がある、今後

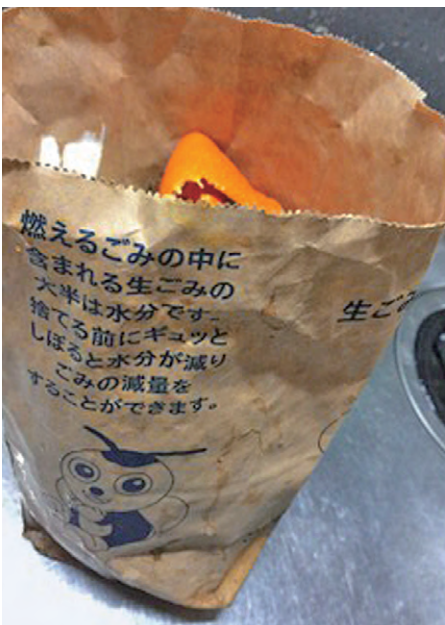
問 ごみ出しが困難な高齢者や障がい者世帯への支援。

答 現行の収集体制では、戸別に収集することは困

難であり、福祉の面から地域包括ケアシステムを推進し、取組むのが課題である。地域福祉のまちづくりの中で、公助又は共助での可能な施策を検討していく。



分別の確認をしながら作業する資源ごみ収集業者



PRのため配付された生ごみ水切り袋

がん教育と、がん患者支援

ワクチン再接種費用助成

子どもの頃から、命の大切さと正しい知識を学ぶ必要がある。

ふたりに一人は「がん」になる時代。実際にがんと闘っている人への支援が必要。

問 治療で免疫を失った子どもの予防再接種の助成。

答 病気治療後の免疫喪失による再度の予防接種は「任意接種」となり、現在、町の助成制度はない。

来年度に向けて助成を行う方向で進めている。

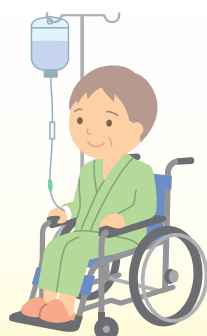
問 県の「がん教育」事業に来年度も阿久比中学校が応募したかどうか。

答 来年度、県によるがん教育モデル講座実施校の募集があれば、是非応募したい。

問 治療する人への生活の質の観点から、医療用ウィッグの購入費助成。

答 医療用ウィッグに対する助成は、全国で数県、数十市町村が実施している。

愛知県や近隣市町の動向を見ながら、調査研究していく。





久保 秋男 議員
(済々会)

選挙公約

校舎の建築工事

問 東部小学校児童増加の現状と課題。

答 東部小学校の児童数は、平成30年11月1日現在で858名27クラス。

児童数が増加することにより教室の不足や、学校行事もこれまで通りにはいかないことが予測される。

問 児童増加への対応と抜本的な施策。

答 平成32年度から教室が不足するので、平成31年度中に校舎の建築工事を行う。

併せて、英比小学校区に隣接する、陽なたの丘と宮津団地の小学校4年生以下の保護者に対し、学校選択制アンケート調査を行い、児童受け入れの検討をしている。

問 保育料無料化に伴う施策を具体的に。

答 国、県から詳細な決定事項や指示に従い進める。



完成が待たれるげんきッズ南部

問 保育料無料化の財源。

答 消費税10%への値上げに伴う増税分を充てることになっている。

負担は決定していない。

問 放課後児童クラブの設置場所と規模。

答 げんきッズ南部の1クラスを2クラスに増設する。

問 土地有効利用促進の具体的な施策。

答 土地改良事業や土地区画整理事業は、地権者の動向や地区の意見等を聞きながら進める。

上り阿久比パーキング設置事業や任意事業「愛知多の大地」なども、事業実施に向け協力していく。

問 都市計画道路の早期着工施策。

答 愛知県決定路線は、愛知県に対し、継続して早期着手を要望していく。町決定路線は、地元と調整を図りながら、検討していく。

問 体育館構想とは。目的、場所、財源。

答 目的は、町民のスポーツの振興・健康づくり、また地区の防災拠点となる避難所を備えた体育館建設。

場所は、目的に応じた建設候補地を検討していく。

財源は、国・独立行政法人などの補助金を活用する。

NAMトライアングル構想

快適生活空間の町づくり

問 NAMトライアングル構想とは具体的にどの様な構想。

答 名古屋(N)、阿久比(A)、三河(M)を結ぶ、都市近郊の利便性の高い快適生活空間をつくる構想。

住みつけたい、子どもを産み育てたい、移り住みたいなど様々なニーズに対応できるまちづくりを進める。

問 阿久比町の発展にどう繋がるのか。

答 阿久比町の魅力を町内外に積極的に情報発信し、現在の人口を維持しつつ町に多くの人々を呼び込むことが、阿久比町の発展に大きく繋がることだと考える。

資源ごみパフォーマンスの向上

ごみの資源化への理解PR



山本 恭久 議員
(済々会)

「可燃ごみ20%削減」の取り組み内容は、可燃ごみから、資源ごみとプラごみを分別して取り出し、減量を図るというものである。

資源ごみ回収から得られる収益金は、各行政区の活動資金として、重要な位置付けになっているが、近年、その金額は、減少の一途をたどっている。

問 回収品の重量測定方法

答 各ステーションでの収集時に手量りで計量し、次に集積場の計量器で計量する。

その後、手量りと計量器で生じた差を按分し、各ステーション収集量に振り分けている。

問 回収品の単価の決定

時期と基準、および有効期間。

答 収集業者がリサイクル業者などへ売りさばいた時の時価が基準で、市場価格の動向を見ながら調整し、月毎に単価を決めている。



資源ごみは、地域の重要な活動資金



幹線道路への抜け道として交通量が増している町道2115・2114号線の変則5差路。通学路だが、停止・区画線のはく離状態は著しく、意味をなしていない。

町道の安全管理

優先順位を付け、計画的に実施

健康づくりの一環として、ウォーキングを日課としている人は多い。

コースは、安全を考慮し、町道や農道の比較的交通量の少ないルートを

選択しているようであるが、道路であるがゆえに、利用する車両も多く、その安全対策が求められている。

問 計画的かつ継続的な区画線の引き直し。

答 交通量、危険度合いなどを考慮し、優先順位を付け、計画的に引き直していく。

問 路肩補強やガードレールの設置。

答 職員のパトロールや通勤、出張時などに発見された道路の異常や、地域からの維持補修申請などを受け、状況に合わせた補修をしている。



見通しの悪い交差点。(町道2115・2117号線)「とまれ」の文字は読み取れない。停止線もほとんど確認できない。

問 注意喚起を促す手段に対する見解。

答 規制標識は、警察へ要望する。

ゾーン規制や、路面をかまぼこ状に盛り上げたハンプの設置などは、周辺住民の理解と協力が必要となる。

歩行者の夜間外出には、白色系の服装や反射材、ライトなどを身につけて安全対策。

一方、車両は早めのライト点灯を心掛けてもらいたい。



都築 重信 議員
(済々会)

避難所のあり方

避難所運営研修会を開催

問 町内の避難所は29年完成のアグピアホールを含め26カ所あると聞いているが、避難所の施設の内容や数に変更はないか。

答 平成29年3月にアグピアホールを加え、26カ所を指定。その後の施設の内容や数に変更はない。

問 エアコンが設置されている避難所数。

答 小中学校の体育館及びふれあいの森、白沢区民館の体育室の7カ所を除く19カ所にエアコンを設置してある。白沢区民館は、体育室以外にはエアコンを設置してある。

問 避難所へエアコンを設置する考え。

答 エアコンのない施設は、構造的に気密性が悪く、大きな空間であり大型の設備が必要である。設置費やランニングコストに多額の費用を要することから設置は難しい。

問 台風等の警報が出た場合、自主的に地区公民館を開ける必要はないか。

答 地区が自主的に避難所を開設することは、災害時の共助として大変重要なことであり、地区での避難所運営がスムーズ

停電時の対応

自家発電機などを利用

問 幼・保・小中学校の停電対策。

答 児童の安全確認、安全対策を講じ、冷蔵庫等の温度や電気機器のスイッチ等を確認するなどを申し合わせている。

問 小中学校では、停電により授業ができなくなることはないが、学校運営上で一番支障がでるのは、ポンプが動かなくなりトイレが使用できなくなる

ことだと考える。

問 庁舎の停電対策。

答 庁舎は、屋上に非常用発電施設を備え、停電時には瞬時に非常用発電に切り替わり災害対策本部の機能を約80時間維持できる。

に行えるよう毎年、自主防災会研修会を開催して、地区での自主的な避難所開設をお願いしている。

問 給食センター、オアシスセンターの停電対策。

答 学校給食センターには、自家発電等の非常用電源がないため、停電時には調理不可能となる。

学校や保育園への給食提供の対応としては、主食と牛乳は、業者の工場が停電していなければ、配送可能である。副食は、レトルト食品が手配できれば、配送可能となる。

オアシスセンターは、自家発電装置と災害用の小型発電機を併用して対応する。

都市計画

計画的に見直しを検討

問 阿久比町の都市計画が策定された時期。

答 都市計画区域指定は昭和44年12月24日。

市街化区域（線引き）の決定は昭和45年11月24日。

問 市街化区域と市街化調整区域の面積割合。

答 市街化区域424ha、市街化調整区域1956haで、約1対4・6である。

問 工業地帯は工業地域に入ると思うが、平成24年の時点で卯之山の工業地帯が工業地域に入っていない理由。

答 中部工業団地は、面積10・8haで、愛知県の市街化区域編入基準の20haに達していないため、市街化調整区域となっている。

問 市街化区域の中で建ぺい率が30%とあるのは、何か意味があるのか。

答 建ぺい率30%の区域は、暫定用途地域と言い、面的整備が必要な区域、又は面的整備から除外された区域として、無秩序に建築、開発行為がされないように制限を設けている区域である。

問 今後市街化区域と市街化調整区域の線引き変更はありうるか。

答 都市的土地利用の低い土地の再構築を優先しながら、鉄道駅等公共交通の利便性の高い地域、都市機能が複数集積している地域等に都市基盤整備の確実性や災害発生の有無等、また社会情勢や人口動向を考慮し、都市計画マスタープランとの整合を図りつつ、計画的に線引き見直しを検討していく。

超高齢化社会への対応

地域で支え合える仕組みを構築



大村 文俊 議員
(高志会)

「2025年問題」

国民の4人にひとりが
後期高齢者と言われる超
高齢化社会への本町の取
り組み。

問 地域医療介護総合確
保基金の活用。

答 平成29年度に在宅医
療連携システム整備事業
として、医療・介護の事
業者が電子連絡帳を通じ
て連携できる「あぐネッ
ト」のシステム整備に活
用した。

問 保険者に対するイン
センティブの取り組み。

答 国において、今年度
から「保険者機能強化推
進交付金」制度が創設さ
れ、保険者に対するイン
センティブが実施されて
いる。

町では、この交付金を
多く受けることができる
よう、地域包括ケアの推
進や給付適正化に取り組
んでいる。

問 介護をしている家庭
や家族に対する取り組み。

答 個別の相談は、地域
包括支援センターで相談
に応じている。

認知症介護家族の集い
として、認知症カフェな
どを実施している。

地域における支え合い
の仕組みづくりなどを進
め、介護家族の支援につ
なげていく。

インセンティブとは

一般的には「報酬」とい
う意味だが、ここでは国が
新たに創設した「保険者機
能強化交付金」の制度にお
いて、保険者（市町村）が
実施した自立支援、重度化
防止の取組み内容により、
交付金の額の多寡が決めら
れる仕組みの事を指す。



あと6年で国民の4人にひとりが後期高齢者になる



勝山 制 議員
(済々会)

新給食センター建設計画の進捗

平成32年9月運用開始

問 検討委員会の進捗。

答 建設検討委員会は、昨年度5回開催し、委員の皆様から基本計画、基本設計について貴重なご意見をいただいた。

問 実施計画の進捗。

答 今年度の補正予算又は来年度の当初予算に、学校給食センター建設等の予算を計上し、平成32年9月に運用開始する計画で作業を進めている。

問 総工費18億円は信頼出来るか。

答 本体建設工事費は、消費税込みで約17億9500万円を予定している。

問 国からの補正予算の見込み。

答 現在、関係各所に働きかけ、学校施設環境改善交付金事業の補正予算待ちとなっている。

補助金の額は、実施設計に基づき約1億5800万円を予定している。

対応食数4500食の能力を持つ新給食センター完成予想図



東部小学校児童増加の対応

最良の方策を考える

問 アンケート調査をする事にした経緯。

最良の方策を考えていきたい。

答 東部小学校の児童増加は、これまで予想してきた人数をはるかに超えた児童数となり、分校制など様々な方策を検討してきた。

問 選択制を取り入れる条件。

また、英比小学校の有効活用も考え、住民意見を把握するため、英比小学校区に隣接する陽なたの丘と宮津団地の小学校4年生以下の保護者に対し学校選択制アンケート調査を実施した。

問 選択制希望者多数の時は東部小学校の増設は無くなるのか。

答 現時点においても教室が手狭なため、増築は行い必要がある。

問 地域活動(学区会、子ども会、地域コミュニティ)等の問題点、課題は研究されているか。

問 選択制の考えは継続するのか。

答 PTAや子ども会は学校との関係が強く、地域コミュニティは、防災や防犯を含め、自治会との関わりが強くなると考

答 選択制導入の検討は、予想以上の児童増加に対応するもので、今後必要性がなくなれば選択制はなくなると考える。

各関係者の意見を聴き、

板山高根湿地の今後とボランティア対策

貴重な動植物の保護と環境整備に務める



三留 亨 議員
(親和会)

板山高根湿地は、自然環境を残す郷土の遺産で、県下有数の湿地として注目されている。その維持管理を行っているボランティア会員は、高齢化と減少などで、将来に不安を抱いている。

問 高根湿地の主な概要。

- ①施設保有の経緯。
- ②施設内容。
- ③維持管理状況と経費。
- ④町民への還元（観察会など）。
- ⑤ボランティア活動の内容。
- ⑥現状における問題点。

答

①果樹園や水田として利用されていたが、後に休耕地となつて、湿水性植物の生息が確認された。

その後、植物などの盗掘や踏み荒らしがあり、平成13年から保護対策を行っている。

②本町の東部丘陵地に位置しており、面積は、約1万1560㎡。湿地性の植物が自生し、多種の昆虫が生息している。

その他、自然観察用の木道が整備されている。

③ボランティア会員が中心となつて、草刈りや木道の補修などを行っている。

土地の借地料101万7000円。維持管理経費50万8000円である。

④観察会を年4回開催し、自然の大切さ、保護の難しさを体験してもらっている。

⑤木道の補修や雑木の間伐、雑草の刈り込みなどの他に、自然観察会で説明も行っている。

⑥ボランティア会員の高齢化と減少により、活動に支障をきたしている。



来シーズンに向け、ボランティア会員の手によって、手入れ作業が行われている板山高根湿地。中でも、木道の損傷は湿地ゆえに著しく、早い段階での修繕が必要となる。これらを含めた維持管理作業は重労働で、高齢者の会員には負担が大き過ぎる。今後のあり方に一考を要す。

問 今後の方針。

答

①湿地における貴重な動植物を保護すると共に、自然環境を町の財産として、後世に残すことである。

②貴重な動植物の発生状況など、豊橋市の「葦毛（いもう）湿原」や武豊町の「壱町田湿地」などと比較しても同程度である。

③写真撮影会や写真展示会、観察会などを継続していく考えである。また、自然観察検討委員や、環境ボランティア会員と意見交換しながら検討する。



手入れ作業は、湿地に自生する植物を痛めないように細心の注意を払って行われている。木道は、観察会には欠かせないもの。ルートは、貴重な動植物を観察しやすいように張り巡らされ、考慮されている。



問 ボランティアへの対応。

答

①このまま継続して活動をお願いしたいと考えている。

②実働会員勧誘などの要望を聞き、活動しやすい環境整備に向けて、お手伝いをする。



小柳みゆき 議員
(佐和の会)

学校選択制アンケートを行なった理由

予想をはるかに超えた児童数

9月議会の一般質問で「東部小学校の教室が足りなくなる」問題に対し、町は「学校の自由選択制や学区変更等の考えはない」と答弁した。

民意を聞く姿勢は良いと考えるが、議会での報告もないまま、なぜ急に「学校選択制を視野に入れたアンケート」を行うことを新聞で発表した。

問 選択制の導入を視野に入れた理由。

答 東部小学校の児童増加は、これまで予想してきた人数をはるかに超えた児童数となり、分校制など様々な方策を検討してきた。また、英比小学校の有効活用も考え、住民意見を把握するため、英比小学校区に隣接する陽なたの丘と宮津団地の小学校4年生以下の保護者に対し学校選択制アンケート調査を実施した。

問 アンケートの内容。

答 次の8項目。
①お子さんの年齢。

- ② 学校選択制をどう思うか。
- ③ 地域や近隣との関係。
- ④ 未就学児がどちらの学校を希望するか。
- ⑤ 小学生が転校を希望するか。
- ⑥ 東部小を選択した理由。
- ⑦ 英比小を選択した理由。
- ⑧ 自由意見欄。

問 時期や方法。

答 11月16日に東部小学校と町内の保育園・幼稚園に依頼し、11月30日までを回答期限とした。

QRコードから「阿久比町電子申請・届出システム」によりインターネットを利用し回答を依頼し、パソコン、FAX、窓口提出での回答も受け付けた。

問 対象は保護者となっているが、家庭の事情をふまえて子どもの人格、意見を尊重したものになっているか。

答 家庭内で子どもと相談し、保護者による回答をお願いした。

問 東部小学校4年生までと町内の保育園・幼稚園の保護者対象にした理由。

答 平成32年度入学時期を想定したアンケート調査により、該当する児童、園児の保護者を対象とした。

問 対象地区の全戸にアンケートを行う考えは。

答 学校選択制に該当する児童、園児の保護者のみ。

問 未就園児や年度内に出産を控えている家庭にも行う考え。

答 出産を控えている家庭にまでは行っていないが、町内にある保育園の0歳児から年少以下の保護者にもアンケート調査を実施した。

問 既に通学している兄弟、姉妹がいる家庭に配慮されているか。

答 兄弟や姉妹が同じ学校へ通うことも視野に入れ、アンケート調査を実施した。

問 転校になった場合の環境に対する配慮。

答 各学校では、日々望ましい友達関係、人間関係を築くことができるよう、さまざまな場面をとらえて支援や指導を行っている。

各学校間で情報交換を密にし、児童が気持ちよく学校生活を送れるよう、出来る限りの配慮をする。

問 学区変更に対する意識調査の希望もあるが。

答 学区の変更は、多数の児童の転校が発生するため、学区変更に対する意識調査の実施は考えていない。

英比小学校の空き状況

4教室転用可能

東部小学校の狭い校庭に校舎を増やし、児童が窮屈な生活を送るよりも様々な場面で、余裕のある環境を整え、今あるものを活用できることが理想と考える。

問 普通教室として活用できる教室。

答 高学年更衣室、算数の少人数学習用、6年多目的室、5年多目的室、1・2年生の生活科で使用する生活科室の4教室は、普通教室として転用できる。

問 教室の空き状況。

答 使用していない教室は無い。

今期の議員活動を振り返る言葉



議長 沢田 栄治

御厚情に「深謝」



大村 文俊 議員

「知崇礼卑」

日々学び、日々努力、日々謙虚に！



久保 秋男 議員

「進化」

新庁舎・人口・世帯共に増、新たな阿久比町



瀧塚 政明 議員

「一期一会」

一生に一度だけの縁、出会いを大切に
する



都築 清子 議員

すべての人に「感謝」



三留 享 議員

「誇（プライド）」

子供達の未来に誇ある町・国である
ように



渡辺 功 議員

「明哲保身」

ものごとをフェアで的確な処理に
心がけた



副議長 山本 恭久

「温故知新」

ある 故きを温ねて新しきを知る



勝山 制 議員

「健康」

病気や怪我などがなく、心身ともに
元気で



小柳みゆき 議員

「人」

不安が多い中、多くの方に支えて頂
いた



竹内 強 議員

「一所懸命」

一生懸命とは違い郷土地域を命懸け
で守る



都築 重信 議員

「自分なりに活動した。
皆さんにありがとう」



山本 和俊 議員

「和動」

※正副議長以降の掲載は50音順です。

次回定例会

3月4日(月) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

TEL 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ

議会だより編集特別委員会
委員長 山本 恭久
副委員長 都築 清子
委員 久保 秋男
委員 小柳 みゆき
委員 瀧塚 政明

(Y・Y)

正月の楽しみのひとつが年賀状です。そこに綴られた自筆の心境や近況報告から、その人の声や表情、光景までもが浮かびあがって、伝わってくるからです。

印刷が主流の昨今ですが、そこに手書き文字がひとつも無かったら、やはり、どこか寂しいと感じてしまいます。

でも、簡単な一言を添えるはずなのに、毎年頭を悩ますのは、なぜ。

編集後記